

大規模災害発生時のリダンダンシー確保は急務

熊本地震発生直後における熊本都市圏の渋滞状況 平成28年4月17日(日)



特に激しい交通渋滞が発生した国道3号や国道501号を避けるため、大量の車両が**国道208号**に流入した。



熊本地震によって九州縦貫自動車道が被災・寸断されたことにより、県北方面からの車両が国道3号に集中し、深刻な交通渋滞を引き起こした。災害時における九州縦貫自動車道の代替機能・ダブルネットワーク構築のためには**「国道3号植木バイパス」の早期整備**が不可欠である。



【凡例】
旅行速度
10km/h未満



国道501号は長崎県や佐賀県側からのルートとなっており、人や物資の輸送や国道3号の渋滞を避ける車両が流入し、激しい交通渋滞が発生した。救急救援活動時の円滑な通行の確保やリダンダンシー確保の観点からも**「有明海沿岸道路(熊本県側)」**整備の重要性が改めて確認された。

国道57号熊本東バイパスは、熊本ICや阿蘇方面からの交通の要であり、朝夕の通勤時間帯には慢性的に渋滞が発生している路線である。熊本地震後は、特に激しい交通渋滞が発生しており、**「主要5交差点の立体交差化」**による交通渋滞の緩和が必要である。

「平成28年熊本地震」では、九州縦貫自動車をはじめとする幹線道路が寸断され、深刻な交通渋滞が発生しました。住民が安心して生活するためには、**災害に強い道路ネットワークの構築が必要不可欠**です。

※掲載の画像は全てが平成28年4月17日のものではありません。渋滞箇所のデータは国土技術政策総合研究所集計データ(速報値)より抜粋

地域高規格熊本環状道路建設促進期成会
有明海沿岸道路建設促進熊本県期成会
国道3号植木バイパス建設促進期成会

「都市圏の交通渋滞解消」と
「高規格道路ネットワークの構築」に向けて



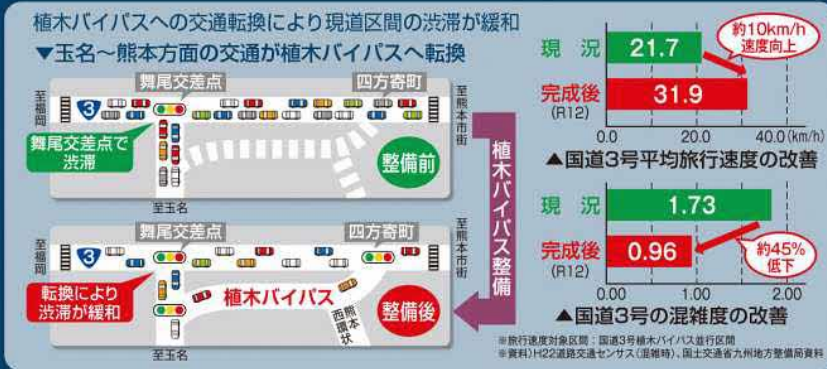
熊本城公園(二の丸広場)から
(2024年6月撮影)

道路整備によるストック効果の早期発現へ！

国道3号植木バイパス

物流効率化の支援 交通渋滞の緩和

事業中区間の早期供用開始による
植木バイパスへの交通転換で
現道区間の渋滞緩和へ

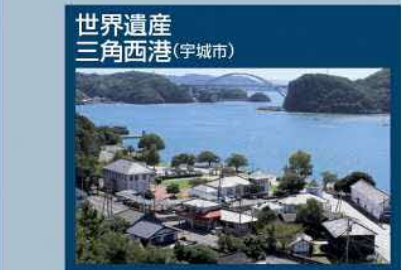
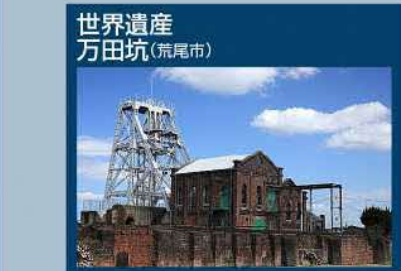


有明海沿岸道路(熊本県側)

有明海沿岸地域の 都市間交流を促進

新たな観光ネットワークが
形成されます

沿岸地域の企業立地環境が
向上します



「都市圏の交通渋滞解消」と 「高規格道路ネットワークの構築」へ向けて

熊本都市圏の渋滞対策 は喫緊の課題

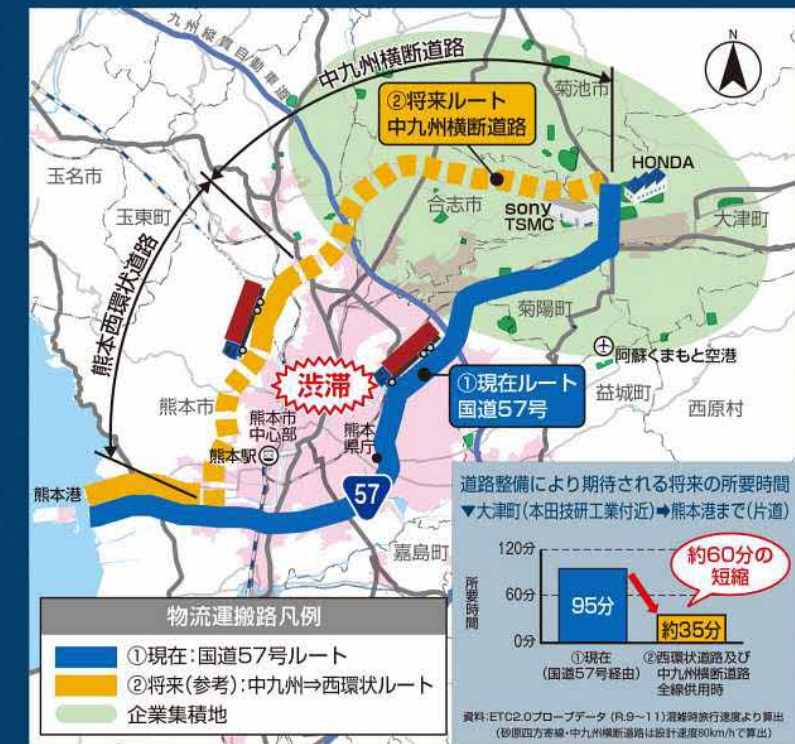
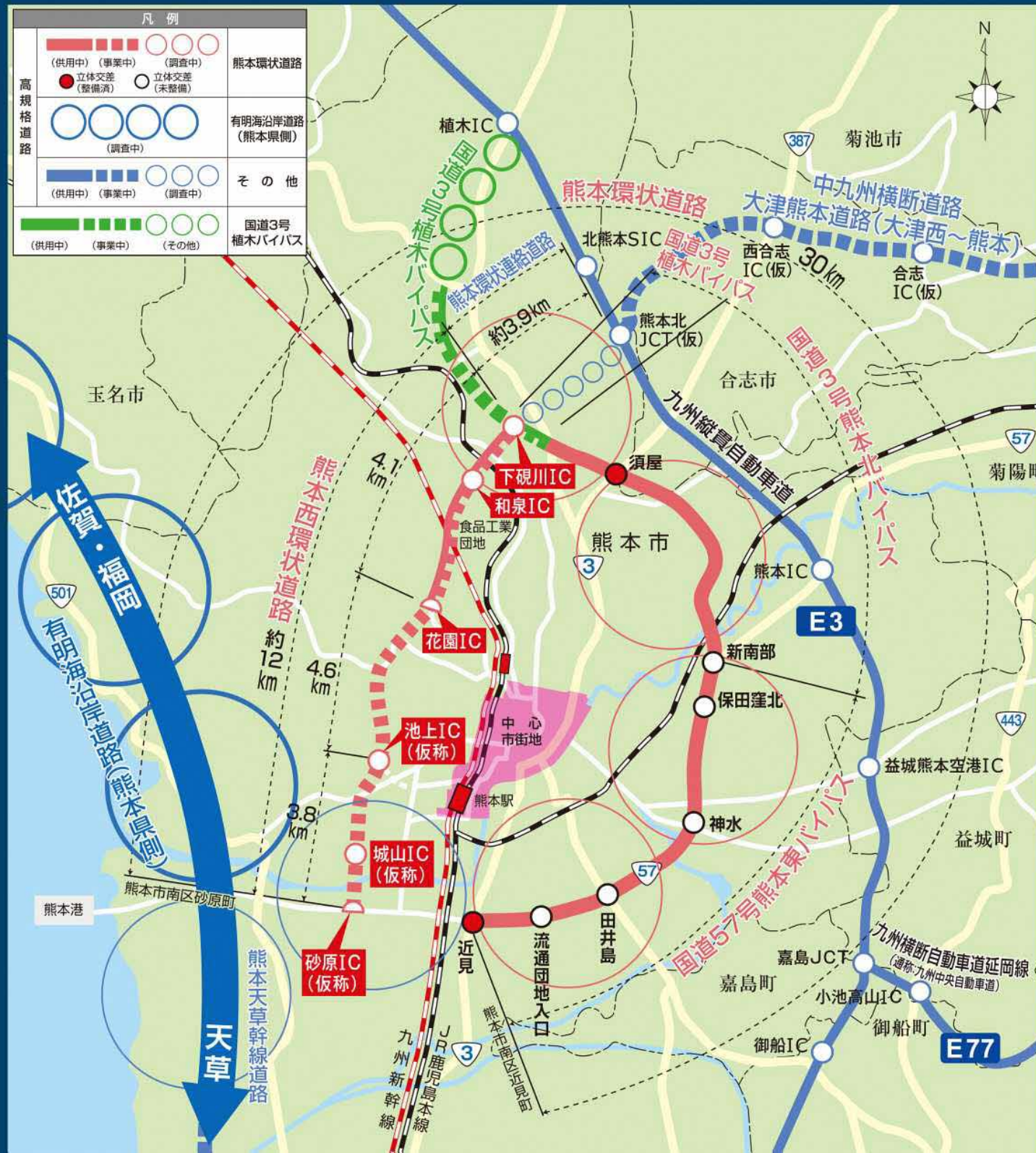
中九州横断道路や九州中央自動車道など放射方向の道路整備が加速する中、その受け皿となる熊本都市圏の渋滞対策が急務

熊本環状道路

熊本西環状道路と 熊本環状連絡道路の整備促進



熊本環状道路の西側を形成する熊本西環状道路と中九州横断道路熊本北～下硯川(熊本環状連絡道路)が繋がることで、中九州横断道路沿線に立地する菊池・大津地域の工業地域と熊本港が結ばれ、物流の速達性や定時制の向上が期待される。



国道57号熊本東バイパスと 国道3号熊本北バイパスの交通混雑の緩和



熊本県内の主要渋滞箇所283箇所のうち、約6割にあたる175箇所が熊本市に集中している。主要渋滞箇所数は、熊本市中心部の平均旅行速度とともに、全国政令指定都市※の中でワースト1位。また、熊本市中心部から高速道路ICや空港等がある熊本市東部までは、移動時間の長さや時間の不確実性が問題視されており、住民の経済活動や生活に深刻な影響を与えている。

※3大都市圏にある東京都都部、大阪市、名古屋市を除いた政令指定都市
交通混雑の緩和により、これら時間的制約に伴う経済損失の解消が期待できる。